

磁石の扱い方

関連単元

- 8 じしゃくのふしぎをさぐる
- 7 電磁石のはたらき(5年)
- 9 発電と電気の利用(6年)

事故防止のために

私たちの生活の場には、磁石やその性質を利用したものが多く存在する、ランドセルや筆箱の蓋などには磁石そのものが使われている。また、図書カード・キャッシュカードなどの磁気カード、コンピュータなどの磁気を利用しているメディアはその性質を使った例である。後者に磁石を近づけると、記録された内容が壊れてしまうので注意したい。

1

児童に渡す前に点検をする。

- 磁力が弱くなっていたら、着磁装置で着磁しておく。
⇒棒磁石やU形磁石など、使用する磁石の磁力が弱くなっていたら、実験結果がうまく現れないので、前もって着磁しておく（着磁装置は児童に触らせない）。

2

磁石に近づけてはいけないもの

- 図書カード・キャッシュカードなどの磁気カード、コンピュータなどの磁気を利用しているメディアなど。
⇒記録された内容が壊れてしまう。



図書カード・キャッシュカード
などの磁気カード



コンピュータ

3

実験するときの注意点

- 指などを磁石ではさんで、けがをしないように気をつける。
- フェライト磁石などを落とすと簡単に割れてしまうことがあるので、気をつける。
- ネオジウム磁石は、磁力が強力なので、扱い方には特に気をつける。
- 砂鉄は、飛び散らないように注意して扱う。

じしゃくのあつかい方

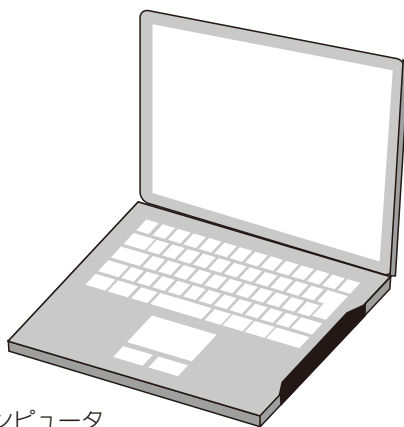
じしゃくは鉄でできているものを引きつける。このせいしつをり用したものは、生活の中にたくさんある。また、引きつけられた鉄は、じしゃくになることがある。じしゃくによっておかしくなるものもある。じしゃくを使うときは、次のことに気をつける。

1 じしゃくに近づけてはいけないもの

- これらにじしゃくを近づけると、きろくされたものがこわれてしまう。



図書カード・キャッシュカード
などのじきカード



コンピュータ

2 じっけんするときに気をつけること

- ゆびなどをじしゃくではさんで、けがをしないように気をつける。
- フェライトじしゃくなどを落とすとかんたん^おにわれてしまうことがあるので、気をつける。
- 砂鉄^{さてつ}は、とびちらないように気をつける。